

## 高精細・高解像・3D表示の人間工学シンポジウム開催のご案内

JEITA ディスプレイデバイス事業委員会人間工学専門委員会は FPD がより快適に、より効率よく利用されることを目的に、人間工学の観点から調査や検討を行っています。さらに、これらの調査検討をベースに電子ディスプレイの人間工学にかかわる国際標準 ISO/TC 159/SC 4、IEC/TC 110 への提案等、国際標準化活動にも積極的に協力を行っております。このたび、平成 25 年度活動の一環として、標記シンポジウムを下記要領により開催致します。

今回のシンポジウムは慶應義塾大学大学院 S D M 研究科にご協力いただき、180インチ・4K の立体視映像を中心とした先端的なディスプレイ設備で、「高精細プロジェクトを用いた 3D 画像研究」、「大規模シミュレーション研究」、「高度 IT を用いた国内外との連携プロジェクト推進」などにも活用されている世界最先端の CDF(Concurrent Design Facility システム)施設のもとで、4K3D 映像を体感いただきながら進めて参ります。

【CDF の詳細はこちら⇒<http://www.sdm.keio.ac.jp/about/cdf.html>】

多数の方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

【日時】 2013年12月18日（水） 13:00～17:00(受付開始12:30より)

【場所】 慶応大学日吉校舎 協生館3階 システムデザイン・マネジメント研究科 (SDM) CDF教室  
〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 (TEL:045- 564-2518)  
[http://www.hc.keio.ac.jp/ja/hiyoshi\\_campus/guide/index.html](http://www.hc.keio.ac.jp/ja/hiyoshi_campus/guide/index.html)

### 【プログラム】

1) 13:00-13:05 (はじめに：人間工学専門委員会)

#### セッション 1：3D映像の人間工学（座長：法政大学小池教授）

2) 13:05-13:35 3D 視聴による眼精疲労防止ガイドラインの標準化：産総研 氏家弘裕氏

3) 13:35-14:00 3D コンテンツの視差量の分析：成蹊大学 窪田悟教授

#### セッション 2：高精細・高解像の人間工学（座長：シャープ富沢氏）

4) 14:00-14:25 モバイルディスプレイに求められる精細度：ジャパンディスプレイ 久武雄三氏

5) 14:25-14:50 解像度と実物感：NHK 正岡顕一郎氏

6) 14:50-15:15 高精細映像の奥行き感の要因 NHK 對馬淑亮氏

休憩 15:15-15:30

#### セッション 3：4K3D映像を中心としたCDFシステム（座長：JDI久武氏）

7) 15:30-16:00 超高精細映像伝送のための新規光インターコネクットの提案：慶応大学 当麻哲哉准教授

8) 16:00-16:30 4K3D コンテンツ制作について：NHK-MT 内藤一輝氏

9) 16:30-17:00 新規フォトリソポリマーがもたらす液晶ディスプレイの革新：慶応大学 多加谷明広教授

【定員】 100名〔定員に達し次第、締切らせて頂きます〕

【費用】 3,150円 ※下記の銀行口座へお振込み下さい。

振込先：三井住友銀行 丸ノ内支店（店番号245）普通預金 6773991 一般社団法人電子情報技術産業協会講演口9

### 【お申込み方法】

参加申込書に必要事項をご記入の上、2013年12月9日（月）までにお申し込み下さい。受付確認メールを1週間前にお送りしますのでプリントアウトの上、受付にご提示下さい。

### 【お申込先/お問合せ先】

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル

一般社団法人 電子情報技術産業協会 コンシューマ・プロダクツ部ディスプレイデバイス担当(大山・一條)

E-mail: [device4@jeita.or.jp](mailto:device4@jeita.or.jp) TEL:03-5218-1058 FAX:03-5218-1077

主 催：一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA) (<http://home.jeita.or.jp>)

後 援：慶應義塾大学大学院 S D M 研究所/POFコンソーシアム